

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	南魚沼市家庭教育支援チーム (呼称: 「だんぼの部屋」)
②活動拠点	南魚沼市立 六日町小学校・北辰小学校・塩沢小学校・浦佐小学校・総合支援学校
③活動範囲	南魚沼市内全域
④組織体制	18 人 主任コーディネーター(兼家庭教育支援員)1人 家庭教育支援員17人 【家庭教育支援員 内訳】 民生委員・地域コーディネーター・支援団体・NPO 関係者・ 拠点校保護者・元保護者(他に ボランティアサポーター 10 数名)
⑤活動開始年度	平成20 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 南魚沼市役所 社会教育課 生涯学習班 (TEL) 025-773-6610 (E-mail) gakusyu@city.minamiuonuma.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(しゃべり場サロンの活動が中心 その他に、親子ものづくり・体験講座・料理教室・学習会等の開催)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しゃべり場サロンの開設（拠点校5校の校内・敷地内） 活動拠点である学校内、敷地内で保護者が気軽に立ち寄って、思いや悩みをつぶやける場を開設しています。つぶやきの中から活動のヒントを得ることもあります。必要に応じて、関係機関などにつながっています。地域の方から学校活動につながる情報が提供されることもあります。 ・だんぼ親子教室の開催 親子で一緒に作業する、もの作り教室や料理教室を年に数回開催しています。一緒に楽しむことで、会話も広がり、子どもは大人に感心したり、大人は子どもの成長に感動したりして、いつもと違った一面が見られます。 ・だんぼ学習会の開催 保護者や祖父母の方を対象に、子どもとの関わり方・祖父母と孫との接し方の大切さ等をテーマにした学習会を開催しています。 ・広報紙「だんぼず ROOM（ルーム）」の作成・配布 日常のほっとする場面の様子を添えて、だんぼの親子教室や学習会、関係機関からのお知らせを記事にして、活動拠点の学校を中心に市内の学校・保育園の保護者などに配布しています。 ・ミーティング 週一回、各拠点校の家庭教育支援員やコーディネーターが集まり、情報共有やより良い対応について話し合いをしています。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が気軽に立ち寄ってつぶやける場所や、機会を提供できました。 ・親子もの作り教室や料理教室を通じて、親子で共同作業する楽しさや子ども達自身が役に立つ自分を発見できました。 ・家庭教育の大切さについて、本当に知ってもらいたい保護者などに情報を届けることの難しさを感じています。また、家庭教育支援チームの活動を正しく理解してもらうことにも苦労がありますが、長い間の活動成果もあって学校からの依頼で、就学時健診・半日入学の際に時間をいただいて、活動を紹介しています。 ・チームメンバーにはそれぞれの事情で、それまでの活動と同じペースで続けられない人も出てきますが、多くのメンバーが無理なく関わりやすい活動方法を検討しながら、新メンバーの確保・育成していき活動していきたいと思えます。 ・支援を必要とする子ども達や家庭には、それぞれに対応する知識や配慮が必要な場合もあって、スタッフやボランティアメンバーが研修できる機会なども大切だと感じています。しゃべり場サロン・親子もの作り教室や料理教室など、これまでの活動を無理のない範囲で継続していくことが目標です。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>
------------------------------------	---